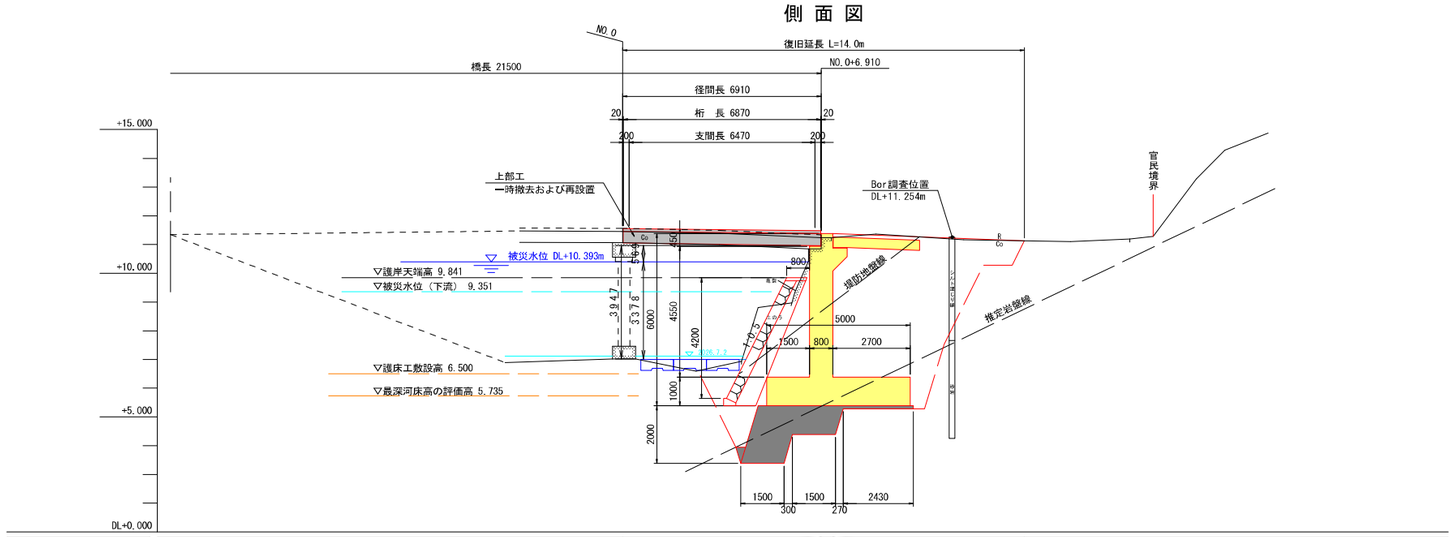
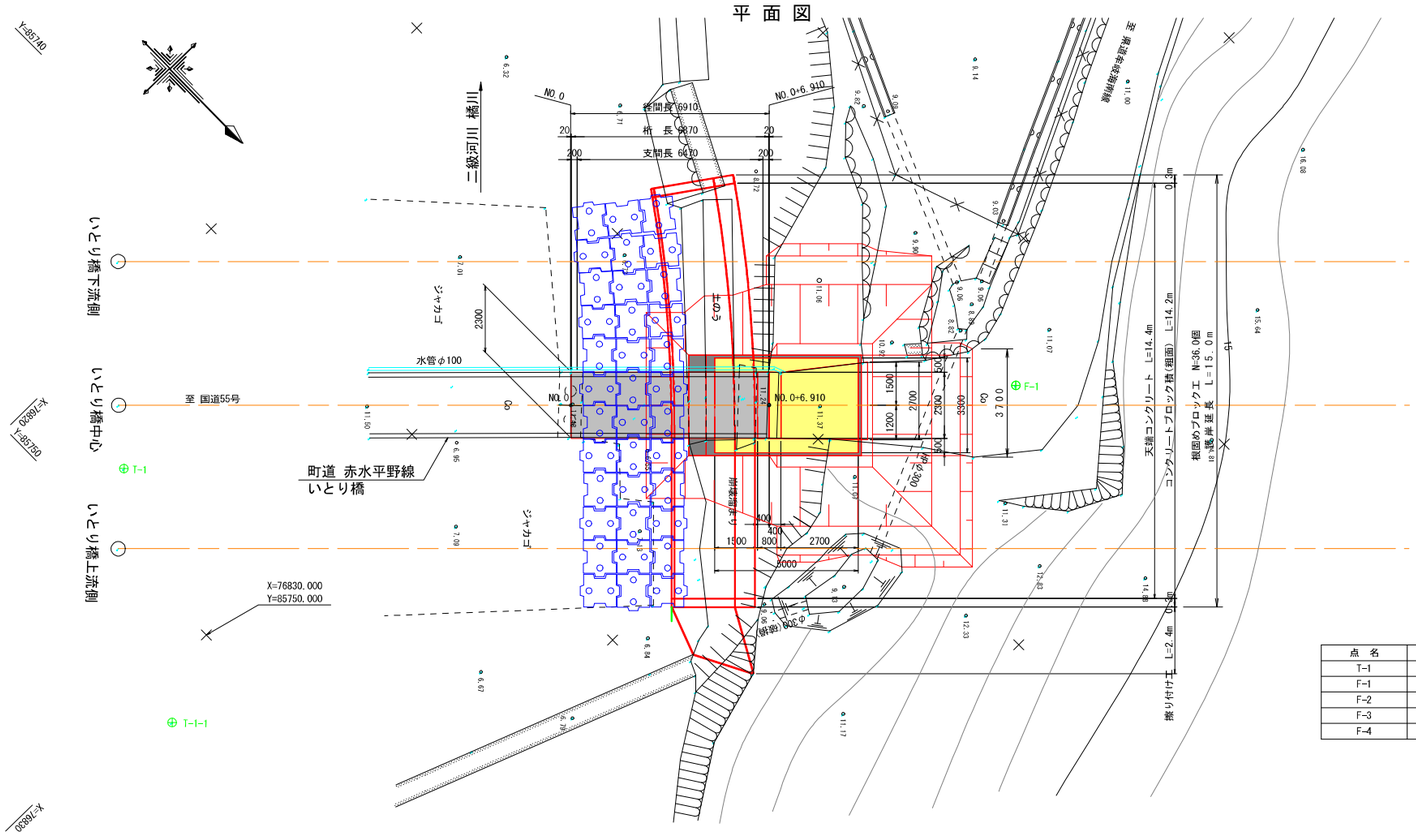
復旧計画一般図 S=1:100

側面図

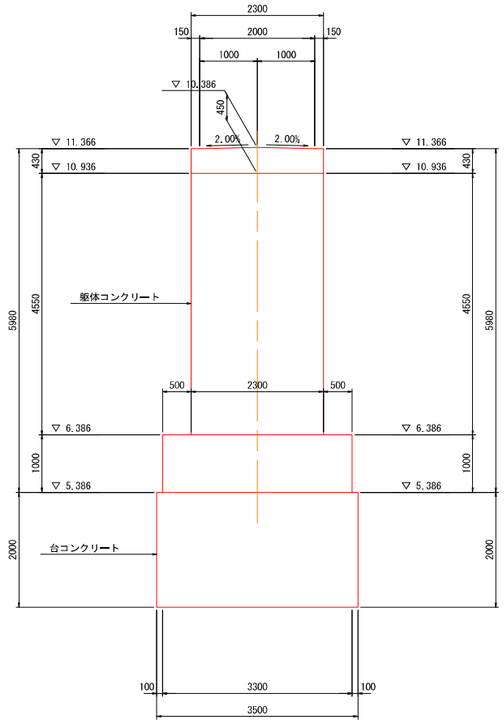


平面図



断面図 S=1:50

橋台部



橋梁諸元

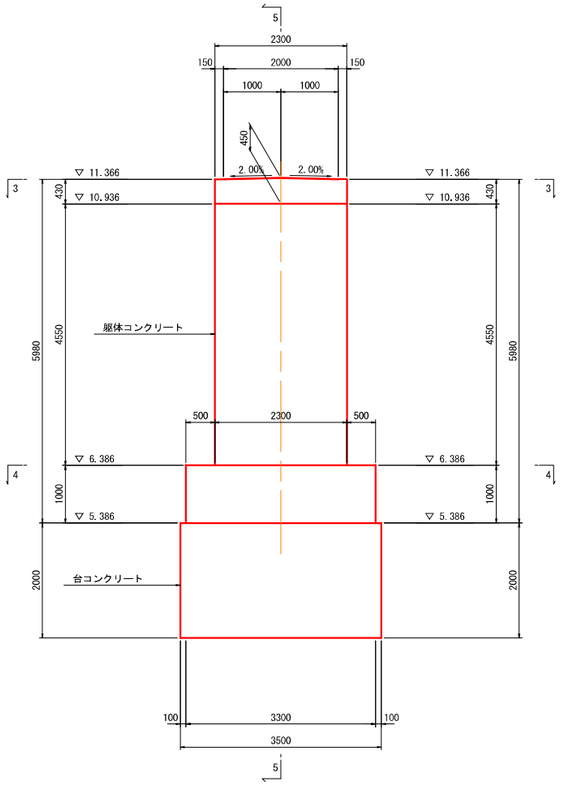
路線名		町道 赤水平野線	
橋名		いとり橋	
区分		既設橋	災害復旧部
架設年度／設計年度		昭和36年(1961年)	
自動車荷重		2等橋(TL-14)	2等橋(TL-14)
形式	上部工	3径間単純RC中実床版橋	単純RC中実床版橋
	橋台	重力式橋台	逆T式橋台
	橋脚	柱橋脚2柱円	-
	基礎	橋台:直接基礎, 橋脚:杭基礎	台コンクリート基礎
橋長		21.500m	
径間長		6.910m(被災径間)	
桁長		6.870m(被災径間)	
有効幅員		車道 : 2.000m	
桁下高		3.947m(右岸)	
斜角		θ=90° 00′ 00″	
舗装		車道 : コンクリート舗装	
地質条件		支持層:軟岩, I種地盤	
適用基準		鋼道路橋設計示方書 昭和31年5月	平成14年 道路橋示方書・同解説

点名	X座標	Y座標	Z座標	備考
T-1	76823.848	85748.003	11.014	標高基準
F-1	76843.474	85723.762	11.095	標高：直接水準
F-2	76826.675	85690.132	10.393	標高：直接水準
F-3	76818.126	85654.270	10.238	標高：直接水準
F-4	76800.110	85607.696	10.013	標高：直接水準

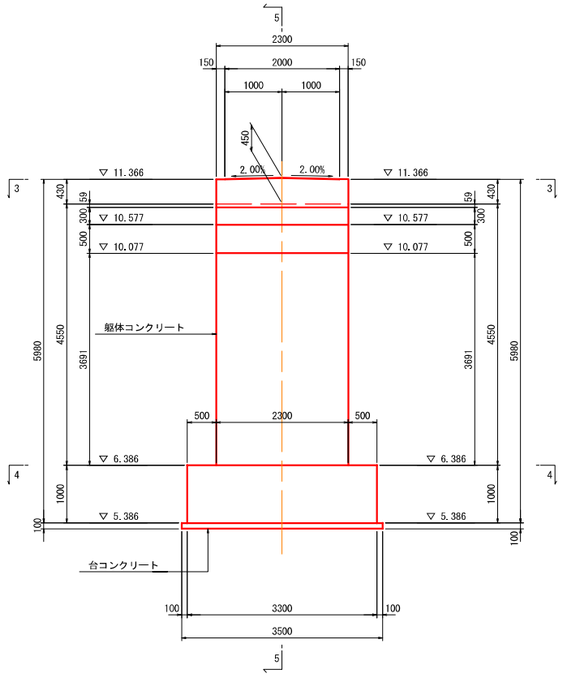
工事名	令和8年災 国補第41号 いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他 市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	復旧計画一般図		
縮尺	図 示	図面番号	1 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町 建設課		

橋台構造一般図 S=1:50

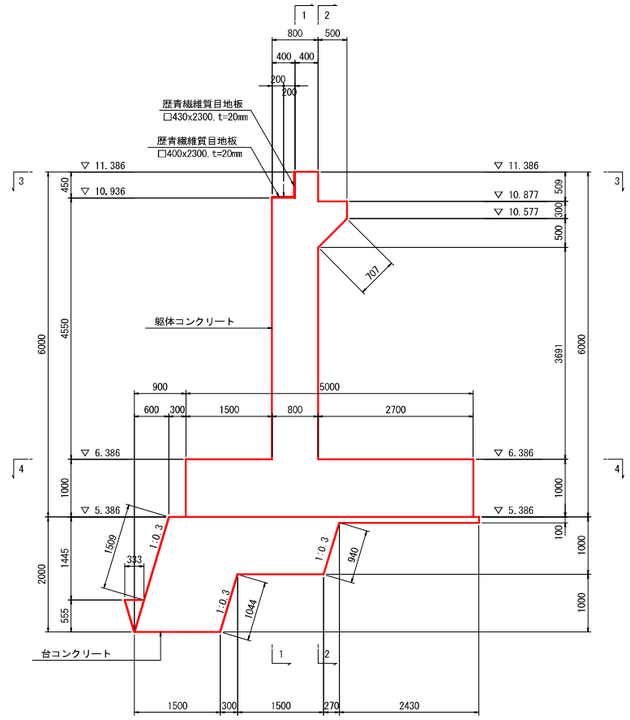
1 - 1



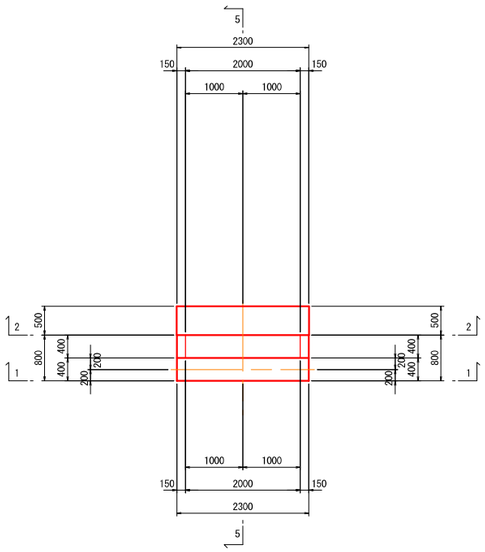
2 - 2



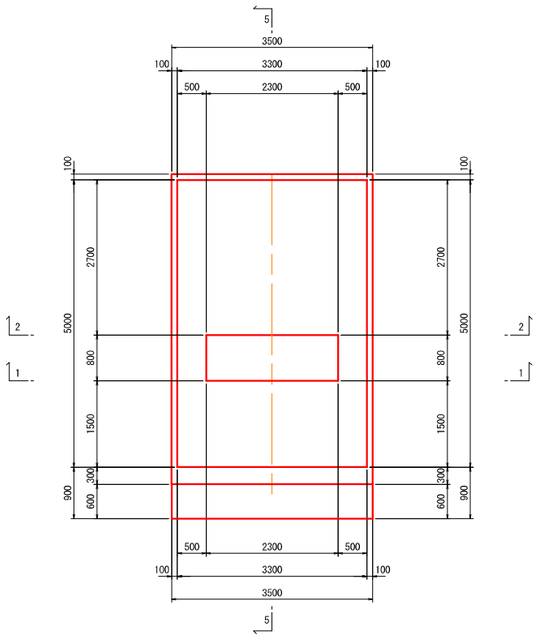
5 - 5



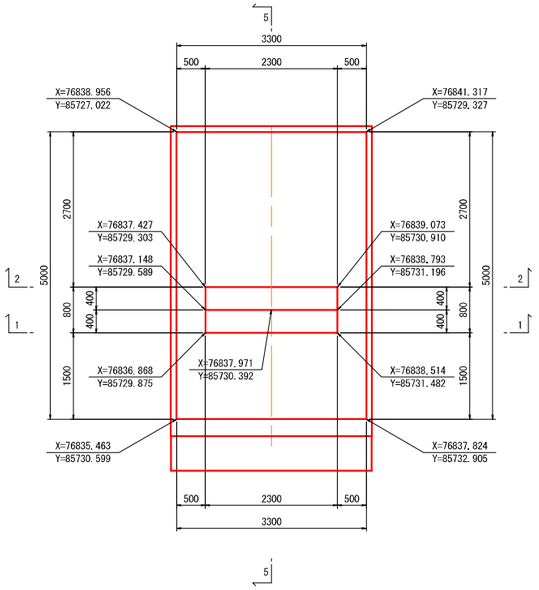
3 - 3



4 - 4



下部工座標図



注記）1. 注記）1. パラペット(胸壁)のコンクリート打設は上部工設置後とするのが良い。
2. 橋台の施工には下表の材料を用いること。

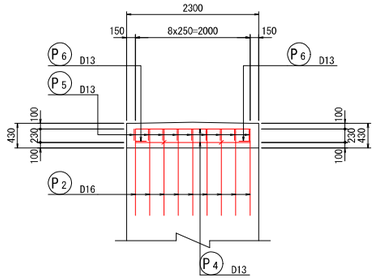
材料規格表

名　　称	規格・寸法
躯体コンクリート	σ_{ck}=24N/mm^2
台コンクリート	σ_{ck}=18N/mm^2
鉄　　筋	SD345

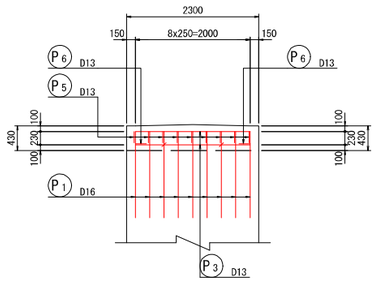
工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	橋台構造一般図		
縮尺	1:50	図面番号	2 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

逆 T 式 橋 台 配 筋 図 (1/4) S=1:50

2 － 2

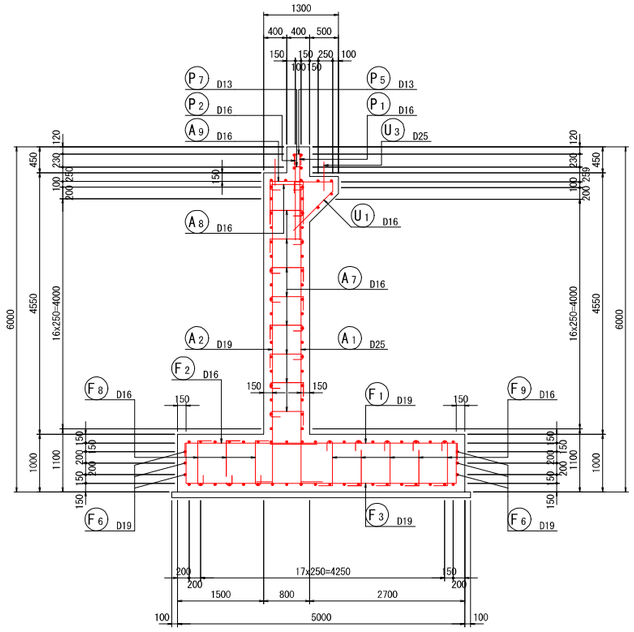


3 － 3

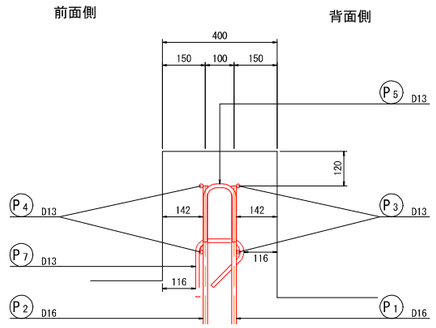


1 － 1

道路CL

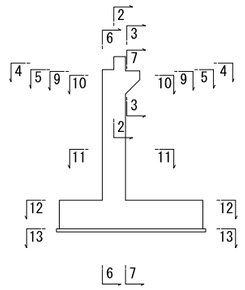


パラペット詳細図 S=1:10

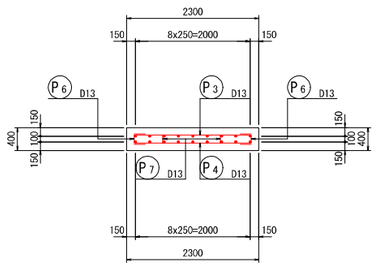


注）P7鉄筋は、P3,P4鉄筋を取囲み半円形フックが背面側となるように配筋する。

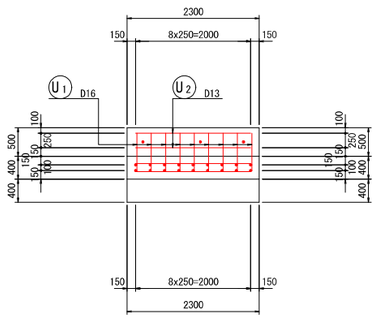
位 置 図



4 － 4

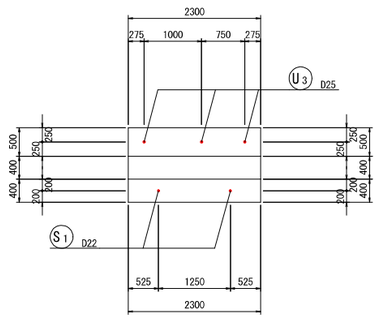


5 － 5



踏掛版・橋座アンカー筋筋配筋図

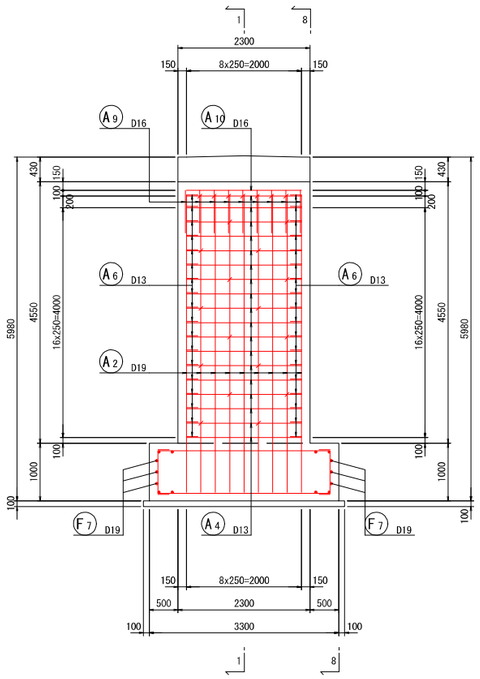
5 － 5



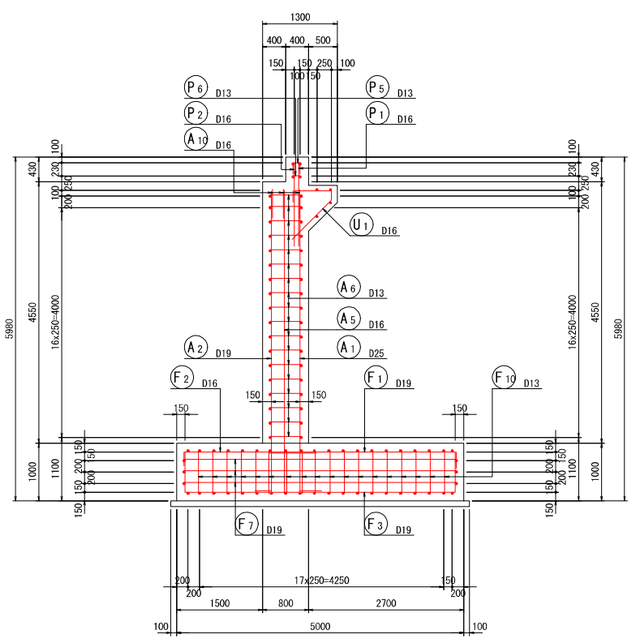
工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	逆T式橋台配筋図(1/4)		
縮尺	図　示	図面番号	3 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

逆 T 式 橋 台 配 筋 図 (2/4) S=1:50

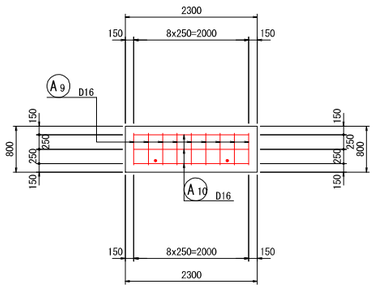
6 － 6



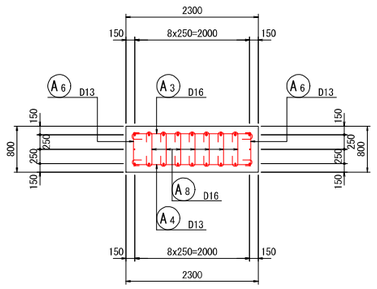
8 － 8



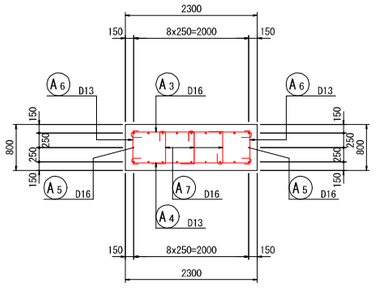
9 － 9



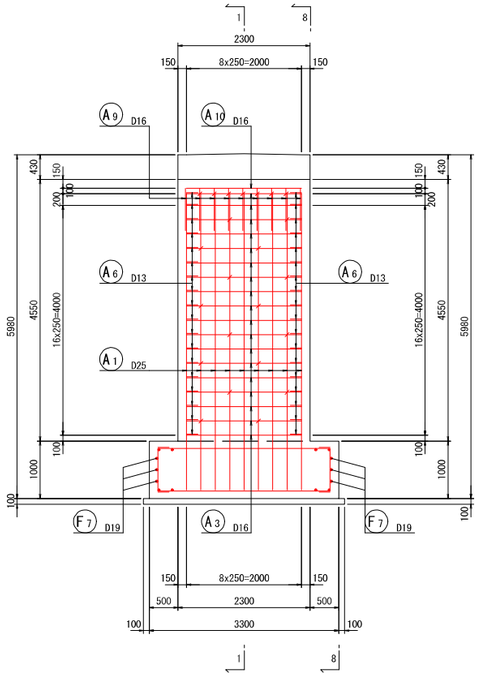
10 － 10



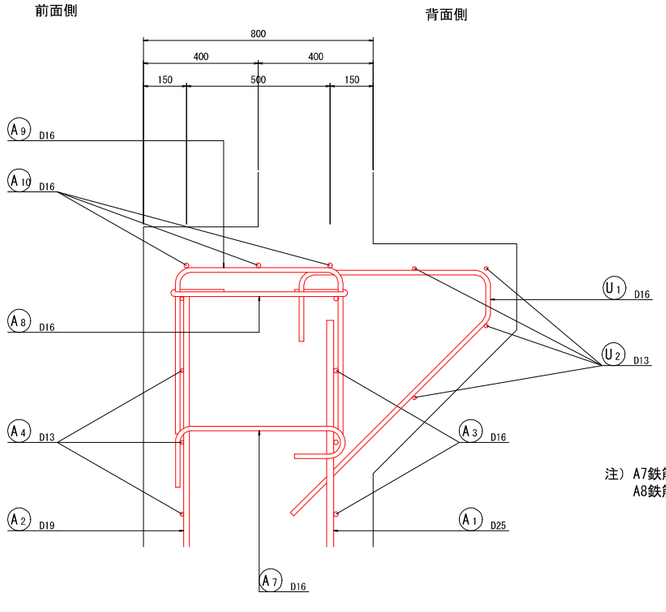
11 － 11



7 － 7

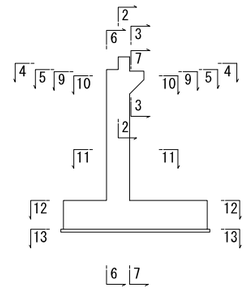


たて壁詳細図 S=1:10



注）A7鉄筋は、A3,A4鉄筋を取り囲み、半円形フックが縦方向に千鳥で配置する。。
A8鉄筋は、A9鉄筋を取囲み配筋する

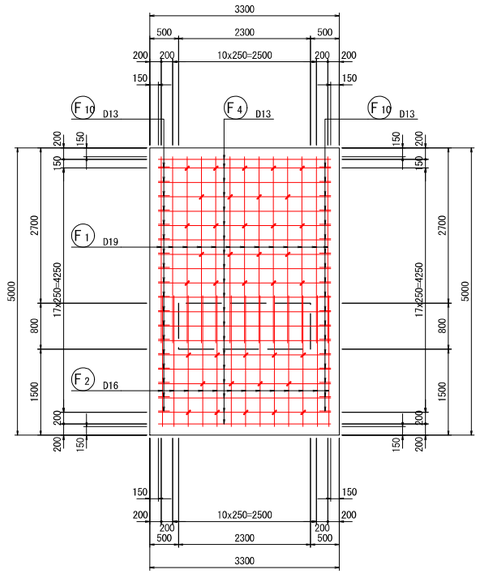
位 置 図



工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	逆T式橋台配筋図(2/4)		
縮尺	図　示	図面番号	4 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

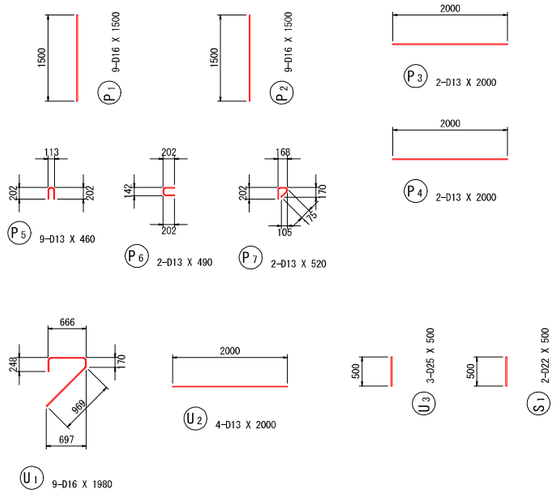
逆 T 式 橋 台 配 筋 図 (3/4) S=1:50

12 - 12


3300
500
2300
500
200
200
10x250=2500
200
200
150
150
F10 D13
F4 D13
F10 D13
F1 D19
F2 D16
F10 D13
F10 D13
5000
2700
17x250=4250
2700
5000
800
800
1500
1500
150
200
200
150
150
200
200
150
150
200
200
150

逆 T 式 橋 台 配 筋 図 (4/4) S=1:50

鉄 筋 加 工 図



鉄筋質量表

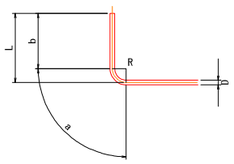
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D16	1500	9	1.56	2.34	21	
P 2	D16	1500	9	1.56	2.34	21	
P 3	D13	2000	2	0.995	1.99	4	
P 4	D13	2000	2	0.995	1.99	4	
P 5	D13	460	9	0.995	0.46	4	
P 6	D13	490	2	0.995	0.49	1	
P 7	D13	520	2	0.995	0.52	1	
						56	
S 1	D22	500	2	3.04	1.52	3	
						3	
U 1	D16	1980	9	1.56	3.09	28	
U 2	D13	2000	4	0.995	1.99	8	
U 3	D25	500	3	3.98	1.99	6	
						42	
A 1	D25	5500	9	3.98	21.89	197	
A 2	D19	5500	9	2.25	12.38	111	
A 3	D16	2560	18	1.56	3.99	72	
A 4	D13	2490	18	0.995	2.48	45	
A 5	D16	5470	2	1.56	8.53	17	
A 6	D13	900	36	0.995	0.90	32	
A 7	D16	1030	16	1.56	1.61	26	
A 8	D16	1070	7	1.56	1.67	12	
A 9	D16	2000	9	1.56	3.12	28	
A 10	D16	2960	3	1.56	4.62	14	
						554	
F 1	D19	3500	13	2.25	7.88	102	
F 2	D16	2500	13	1.56	3.90	51	
F 3	D19	6060	13	2.25	13.64	177	
F 4	D13	3000	20	0.995	2.99	60	
F 5	D13	3000	20	0.995	2.99	60	
F 6	D19	3000	6	2.25	6.75	41	
F 7	D19	5260	6	2.25	11.84	71	
F 8	D16	1210	14	1.56	1.89	26	
F 9	D16	1220	23	1.56	1.90	44	
F 10	D13	1090	36	0.995	1.08	39	
						671	

合計	D25	203 kg
	D22	3 kg
	D19	502 kg
	D16	360 kg
	D13	258 kg
総質量		1326 kg SD345

フック加工要領図

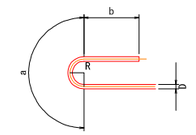
直角フック

	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
a	61	75	90	104	118	137	151
b	156	192	228	264	300	348	384
R	39	48	57	66	75	87	96
L	195	240	285	330	375	435	480



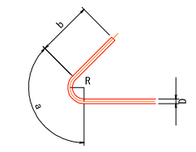
半円形フック

	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
a	123	151	179	207	236	273	302
b	120	128	152	176	200	232	256
R	39	48	57	66	75	87	96



鋭角フック

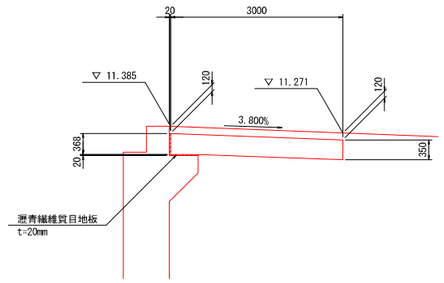
	D13
a	92
b	130
R	39



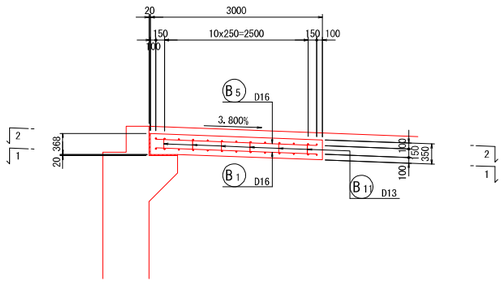
工事名	令和8年災 国補第41号 いとり橋災害復旧工事
路線名等	その他 市町村道赤水平野線
工事箇所	牟岐町
図面名	逆T式橋台配筋図(4/4)
縮尺	図 示
図面番号	6 / 14
会社名	
事業者名	牟岐町 建設課

踏掛版詳細図 S=1:50

構造一般図
断面図
CL-CL



配筋図
断面図
CL-CL



鉄筋質量表

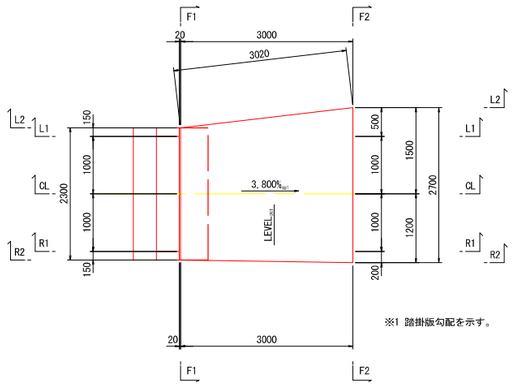
踏掛版1基当り数量

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B1	D16	2810	8	1.56	4.38	35	
B2	D16	2060	1	1.56	3.21	3	
B3	D16	2810	1	1.56	4.38	4	
B4	D16	2830	1	1.56	4.41	4	
B5	D16	2810	8	1.56	4.38	35	
B6	D16	2060	1	1.56	3.21	3	
B7	D16	2810	1	1.56	4.38	4	
B8	D16	2830	1	1.56	4.41	4	
B9	D13	2300	13	0.995	2.29	30	(平均長)
B10	D13	2300	13	0.995	2.29	30	(平均長)
B11	D13	540	13	0.995	0.54	7	
						159	
		合計	D16			92 kg	
			D13			67 kg	
		総質量				159 kg	

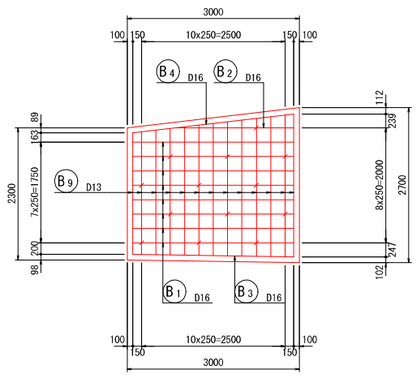
材料規格表

名称	規格・寸法
コンクリート	σ_{ck}=24N/mm²
鉄筋	SD345

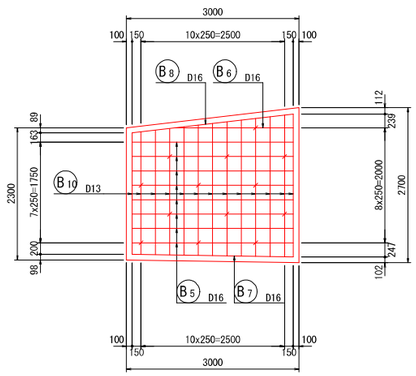
平面図



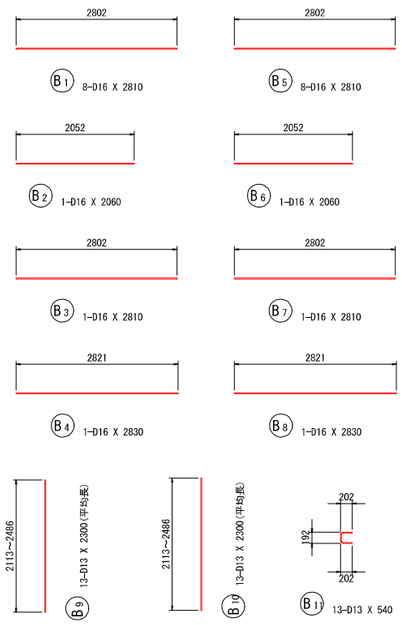
平面図
1－1



平面図
2－2



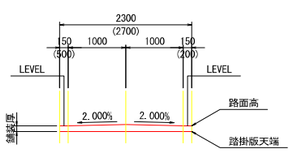
鉄筋加工図



高さ及び舗装厚

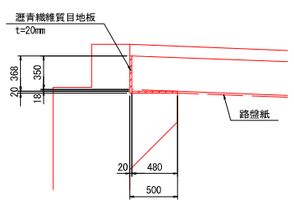
	F1			F2		
	計画高		舗装厚	計画高		舗装厚
	路面高	踏掛版天端		路面高	踏掛版天端	
L2	11.365	11.265	0.100	11.251	11.151	0.100
L1	11.365	11.265	0.100	11.251	11.151	0.100
CL	11.385	11.265	0.120	11.271	11.151	0.120
R1	11.365	11.265	0.100	11.251	11.151	0.100
R2	11.365	11.265	0.100	11.251	11.151	0.100

高さ及び舗装厚

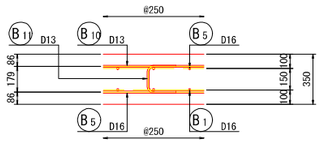


（ ）内の寸法は、F2寸法を示す。

受台詳細図 S=1:30



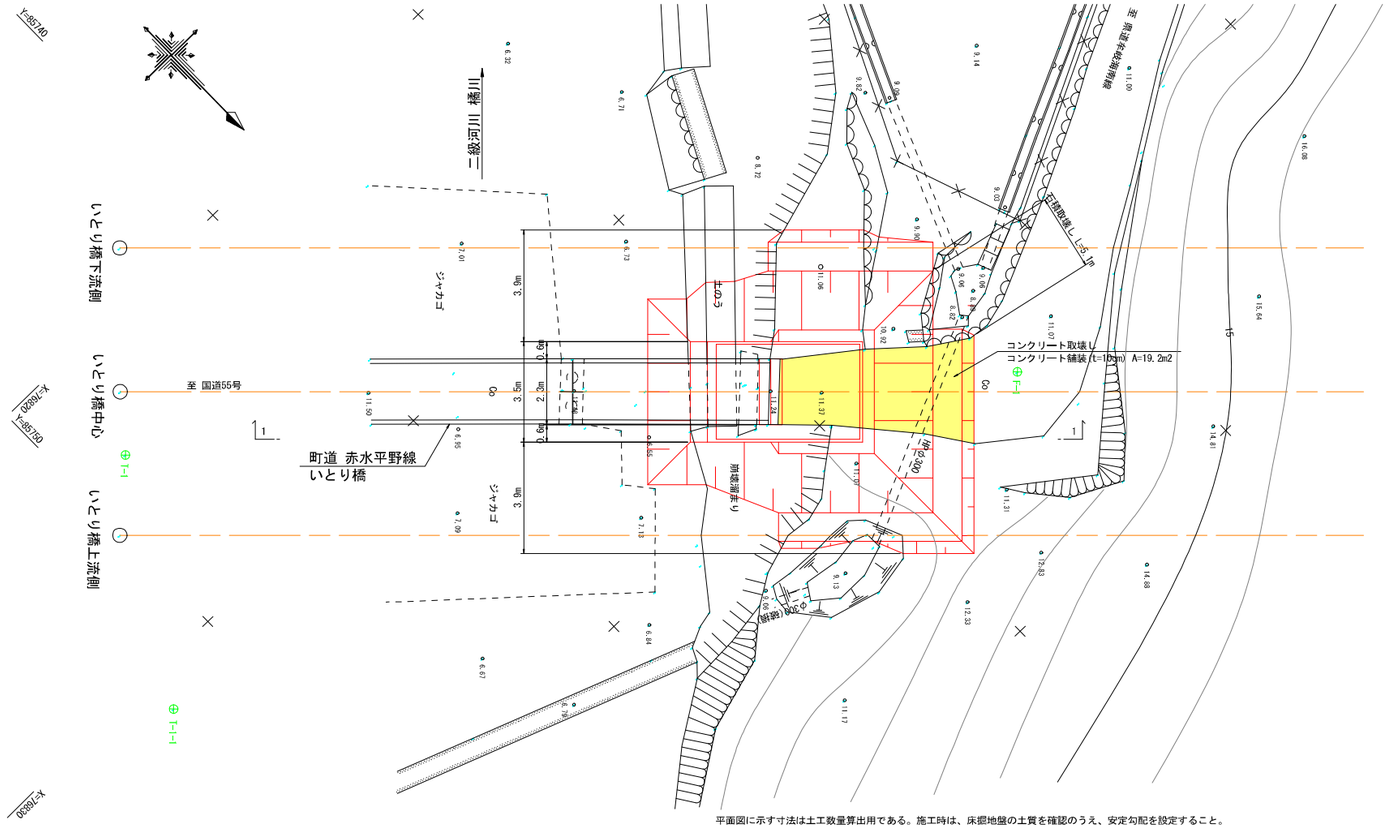
配筋詳細図 S=1:20



工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事
路線名等	その他　市町村道赤水平野線
工事箇所	牟岐町
図面名	踏掛版詳細図
縮尺	図　示
図面番号	7 / 14
会社名	
事業者名	牟岐町　建設課

下 部 工 土 工 図 S=1:100

平 面 図

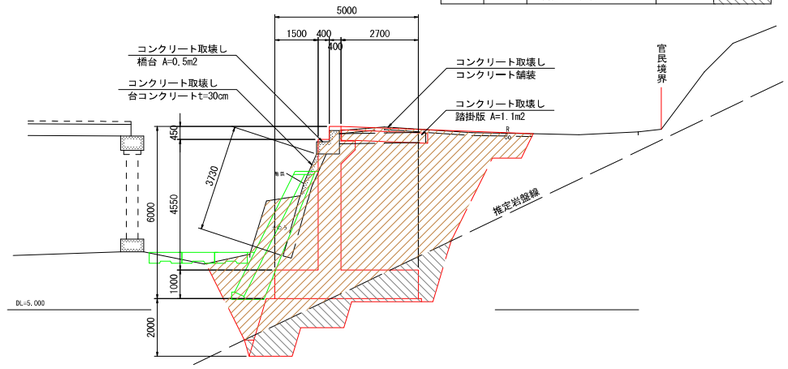


平面図に示す寸法は土工数量算出用である。施工時は、床掘地盤の土質を確認のうえ、安定勾配を設定すること。

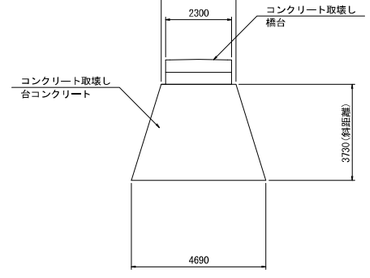
いとり橋中心
床掘り時

橋台工

工 種	種 別	細別・規格	右 岸	凡 例
作業土工	床掘り	床掘り（土砂）	40.1	
		床掘り（軟岩）	7.1	



被災橋台正面図



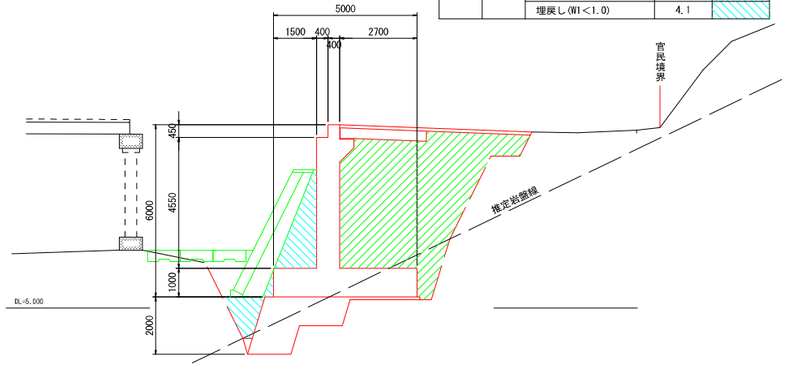
橋台工

工 種	種 別	細別・規格	右 岸	凡 例
道路盛土	盛土	路体盛土	21.8	

いとり橋中心
埋戻し時

橋台工

工 種	種 別	細別・規格	右 岸	凡 例
作業土工	埋戻し	埋戻し(4.0≦W1)	－	
		埋戻し(1.0≦W1＜4.0)	－	
		埋戻し(W1＜1.0)	4.1	

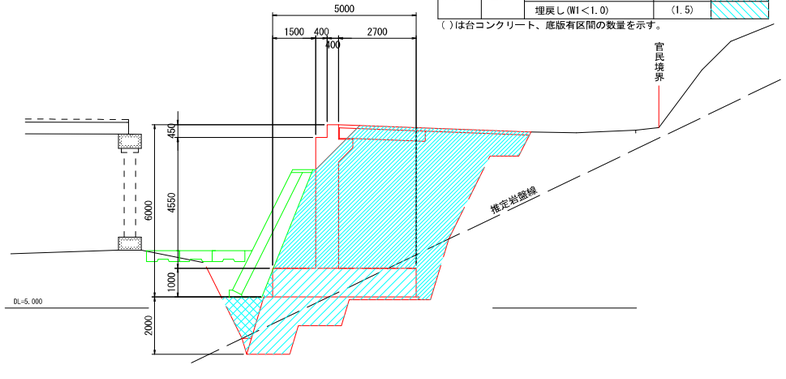


1 － 1
埋戻し時

橋台工

工 種	種 別	細別・規格	右 岸	凡 例
作業土工	埋戻し	埋戻し(4.0≦W1)	40.7(29.4)	
		埋戻し(1.0≦W1＜4.0)	－	
		埋戻し(W1＜1.0)	(1.5)	

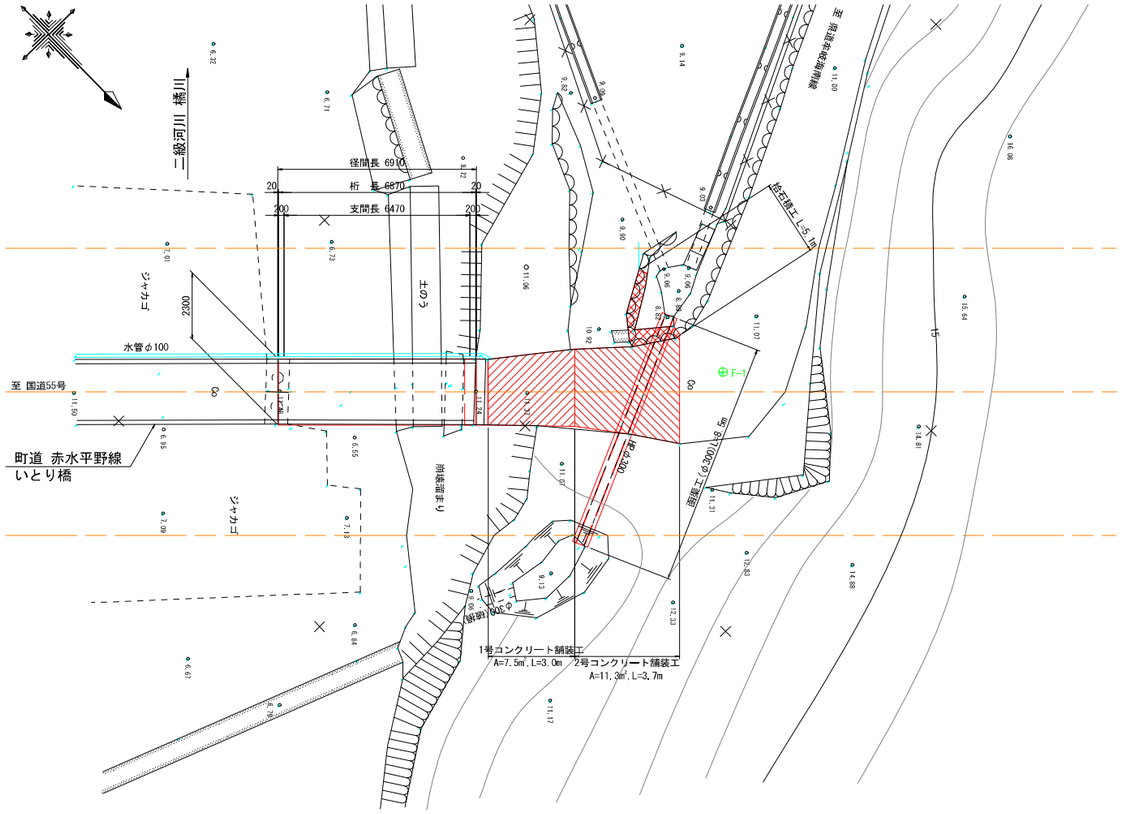
（ ）は台コンクリート、底版有区間の数量を示す。



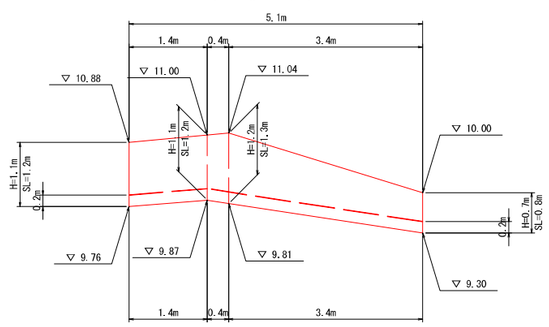
工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	下部工土工図		
縮尺	1:100	図面番号	8 ／ 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

取 合 工 詳 細 図 S=1:100

平 面 図

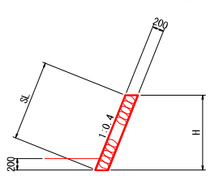


拾石積工展開図 S=1:50

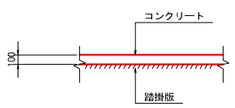


本展開図は参考図であり施工においては現地形に合わせること。

拾石積工構造図 S=1:50



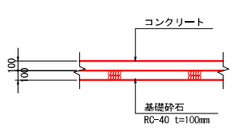
1号コンクリート舗装工 S=1:30



コンクリート舗装工 1式当り数量

名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck≧18N/mm², t=10cm	m3	0.75
型枠	一般型枠	m2	6.0

2号コンクリート舗装工 S=1:30

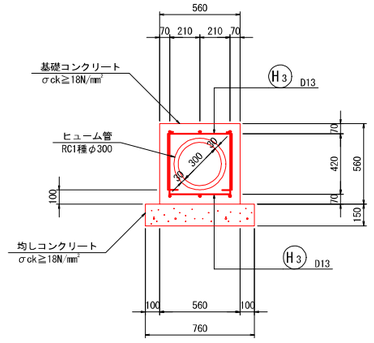


コンクリート舗装工 1式当り数量

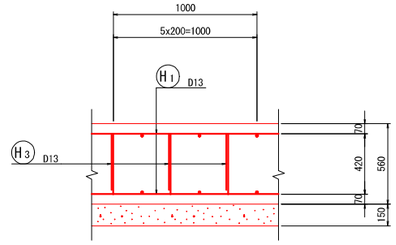
名 称	規 格	単位	数 量
コンクリート	σck≧18N/mm², t=10cm	m3	1.13
型枠	一般型枠	m2	7.4
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m2	11.3

暗渠工(φ300)

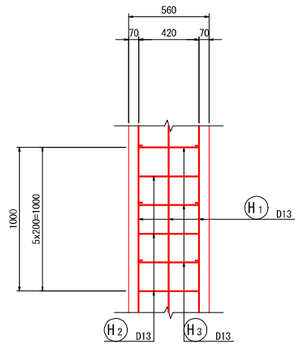
断 面 図



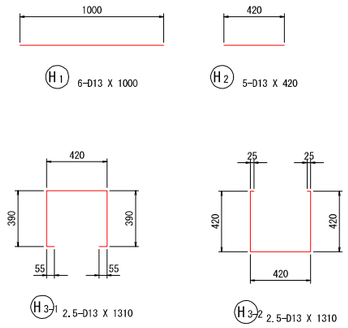
側 面 図



平 面 図



鉄 筋 加 工 図



注記
・鉄筋加工図は、1m当りの本数を示す。

暗渠工(φ300) 10.0m当り数量

名 称	規 格	単位	数 量
基礎コンクリート	σck≧18N/mm²	m3	2.12
型枠	一般型枠	m2	11.2
均しコンクリート	σck≧18N/mm²	m3	1.14
型枠	均し型枠	m2	3.0
ヒューム管	φ300, 1種	本	5
鉄筋	SD345, D13	kg	146

鉄筋質量表

1.0m当り数量

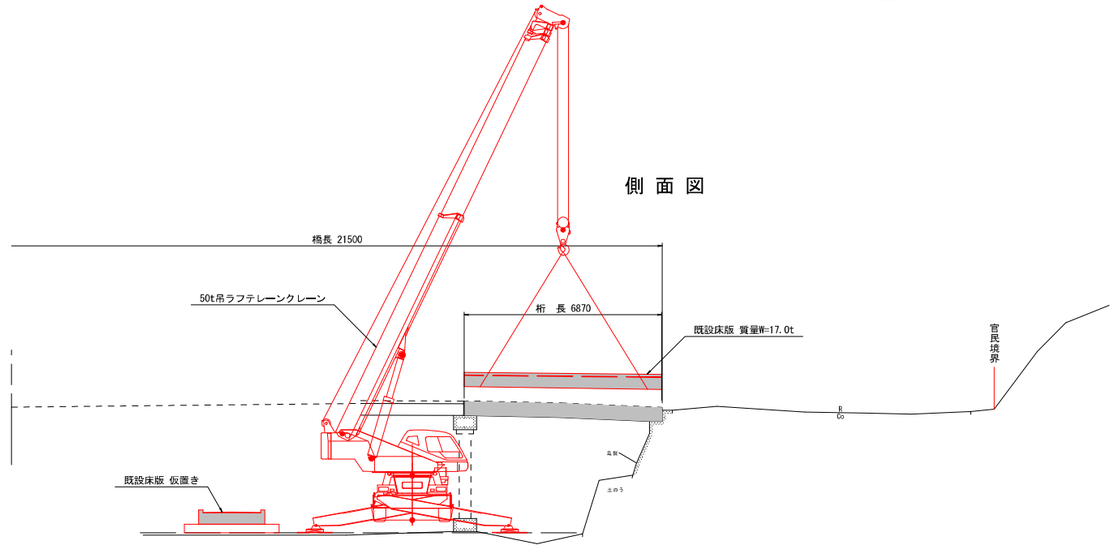
記 号	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一本当り質量	質 量	摘 要
H1	D13	1000	6	0.995	0.995	5.97	
H2	D13	420	5	0.995	0.418	2.09	
H3-1	D13	1310	2.5	0.995	1.303	3.26	
H3-2	D13	1310	2.5	0.995	1.303	3.26	
						14.58	
	合 計	D13		14.58 kg			
	総質量			14.58 kg			

工事名	令和8年災 国補第41号 いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他 市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	取合工詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	9 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町 建設課		

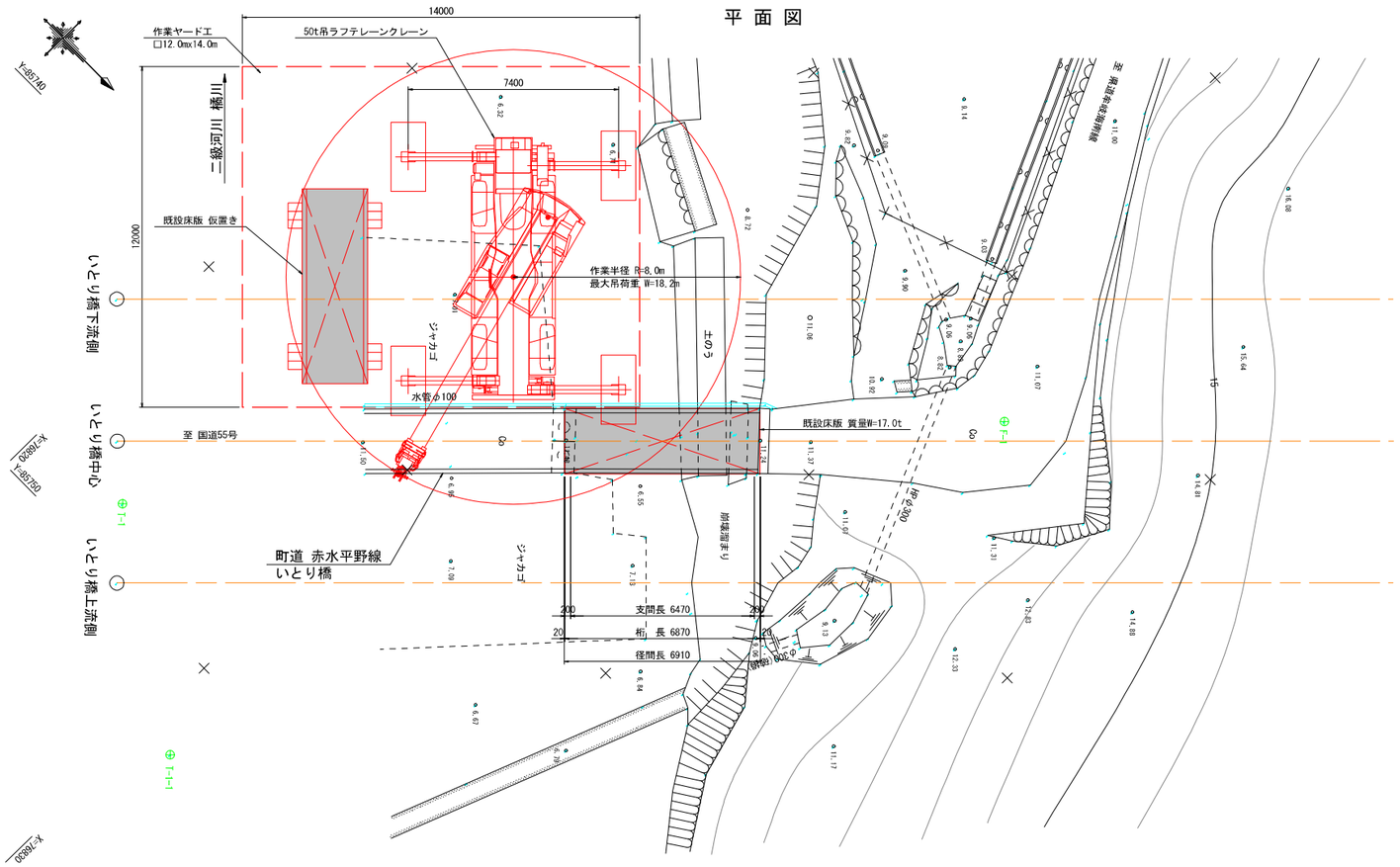
上 部 工 撤 去・復 旧 参 考 図 (1/2) S=1:100

上部工一時撤去時

側 面 図



平 面 図



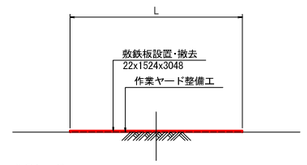
50t吊ラフテレーンクレーン アウトリガ最大張出 (7.4m)

ブーム長さ / 作業半径	9.7 m	16.0 m	22.3 m	28.6 m	34.9 m	38.05 m	41.2 m
2.5 m	51.0	30.0	20.0	12.5			
3.0 m	51.0	30.0	20.0	12.5			
3.5 m	45.0	30.0	20.0	12.5	11.0		
4.0 m	39.5	30.0	20.0	12.5	11.0	9.0	
4.5 m	35.5	30.0	20.0	12.5	11.0	9.0	
5.0 m	32.0	29.0	20.0	12.5	11.0	9.0	7.0
5.5 m	29.0	27.0	20.0	12.5	11.0	9.0	7.0
6.0 m	26.5	25.0	19.2	12.5	11.0	9.0	7.0
6.5 m	24.0	23.2	18.0	12.5	11.0	9.0	7.0
7.0 m		21.3	17.0	12.5	11.0	9.0	7.0
8.0 m		18.2	15.0	12.5	11.0	9.0	7.0
9.0 m		15.0	13.4	11.5	10.2	9.0	7.0
10.0 m		12.3	11.9	10.5	9.3	8.5	7.0
11.0 m		10.2	9.9	9.6	8.5	7.8	6.8
12.0 m		8.5	8.25	8.8	7.8	7.2	6.4
13.0 m		7.1	6.9	7.9	7.1	6.6	6.0
14.0 m			5.9	6.9	6.6	6.1	5.6
16.0 m			4.3	5.2	5.7	5.3	4.9
18.0 m			3.0	4.0	4.5	4.6	4.3
20.0 m				3.1	3.5	3.7	3.85
22.0 m				2.35	2.75	3.0	3.1
24.0 m				1.7	2.1	2.35	2.5
26.0 m					1.65	1.85	2.0
28.0 m					1.25	1.4	1.55
30.0 m					0.9	1.0	1.2
32.0 m						0.7	0.9
34.0 m							0.6

・定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値を示す。
・既設床版の質量は、W=17.0tと推定した。
・最大吊荷重は、既設床版質量にフック質量（主巻フック：460kg、副フック：300kg、補巻フック：100kg）を加えた値とする。
・吊荷重 W=17.0t+0.46t+0.30t+0.10t=17.86t
・上表の値は参考値であり、施工時には使用するクレーンにより再確認すること。

注記
・既設床版の寸法、質量等については、施工前に現地確認を行うこと。
・支承のアンカーが設置されていることが想定されるため、慎重に一時撤去を実施すること。
・吊上げ時は床版の安定を確保し、過大な応力が生じないよう適切な吊り具および吊り点を使用すること。
・床版復旧時は、橋軸方向および橋軸直角方向の据付位置を確認のうえ架設すること。
・既設RC床版の撤去、仮置きおよび再架設に際しては、床版に損傷を与えないよう適切な養生を行うこと。
・復旧時は、床版の一部を削孔し復旧橋台のアンカー筋と位置を合わせて架設する。
・現地状況と図面内容に相違がある場合は、監督員と協議のうえ施工すること。
・本図面は参考図であるため、施工においては再検討を実施すること。

作 業 ヤ ー ド 工 S=1:50



作業ヤード工　1式当り

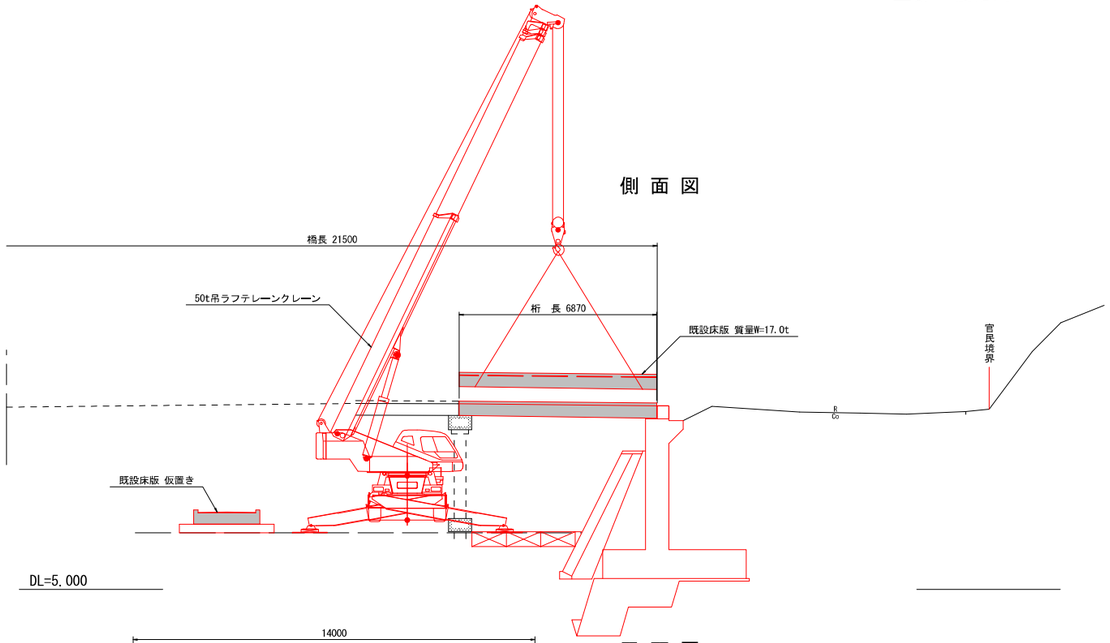
名　称	規　格	単位	数　量
作業ヤード整備工	土砂	m^2	132
敷鉄板設置・撤去	22x1524x3048	m^2	132

工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	上部工撤去・復旧参考図(1/2)		
縮尺	図　示	図面番号	10 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

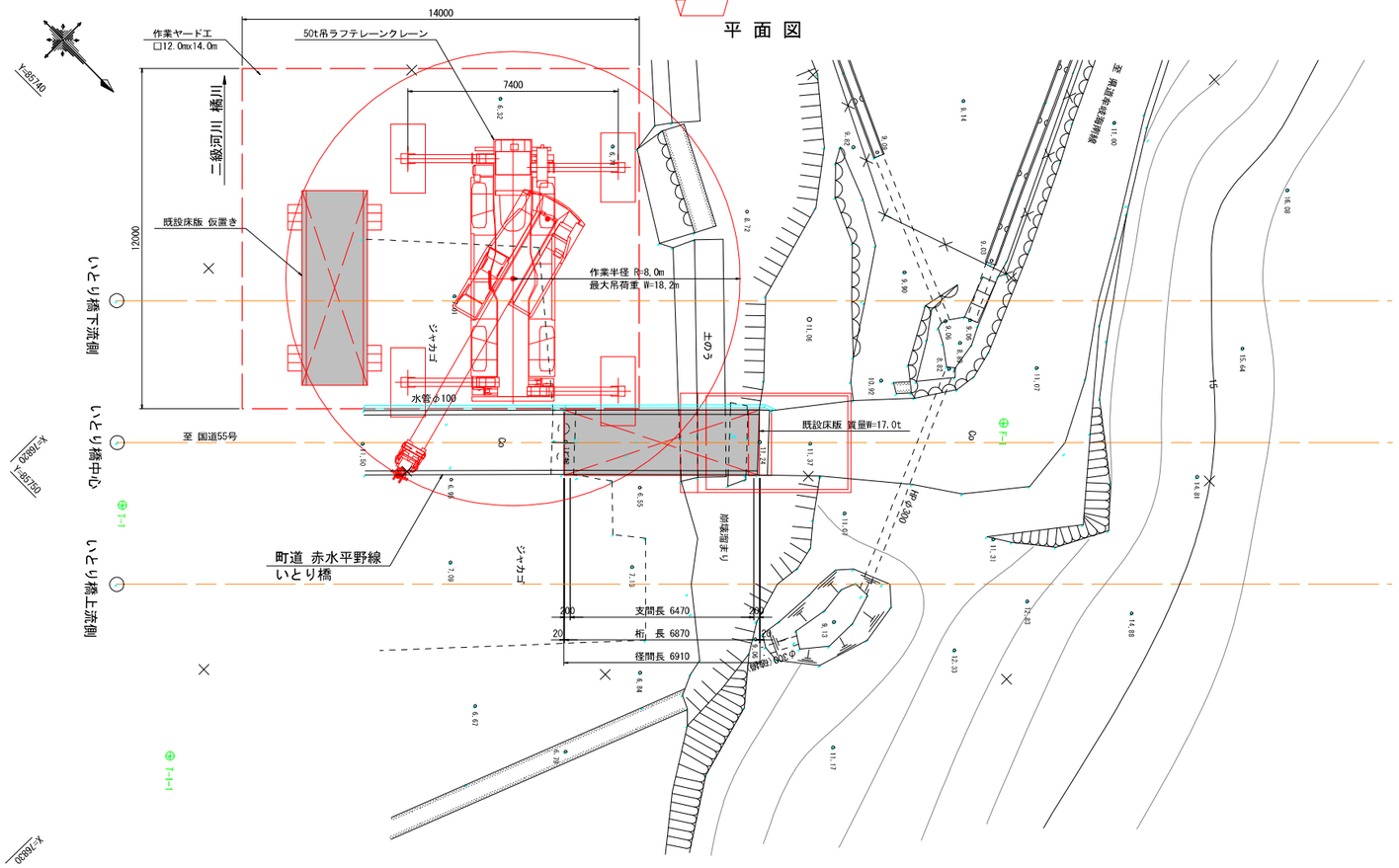
上 部 工 撤 去・復 旧 参 考 図 (2/2) S=1:100

上部工復旧時

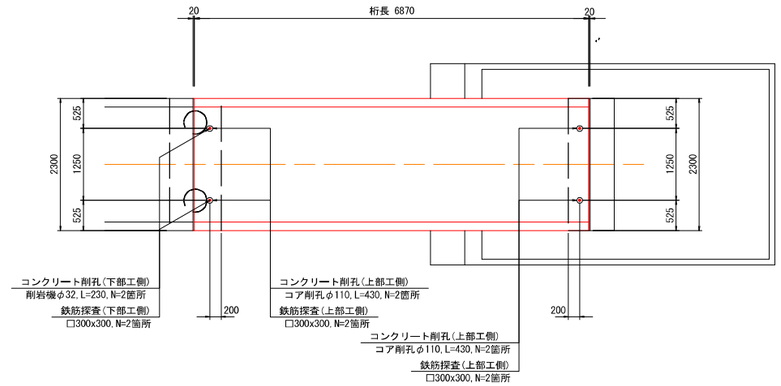
側 面 図



平 面 図

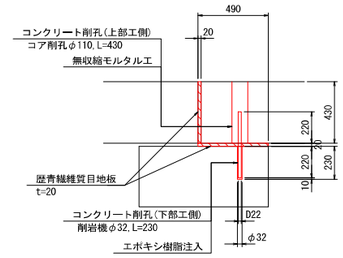


平 面 図 S=1:50



断 面 図 S=1:20

橋脚上



施工要領案

1. 橋台の施工を行う。
   なお、橋台パラペットのコンクリート打設は、上部工架設後に実施することが望ましい。
2. 橋脚、橋台および上部工のアンカー筋位置を計測する。
   また、橋脚および上部工の削孔位置については鉄筋探査を実施し、既設鉄筋を損傷しない位置で削孔を行うこと。
3. 橋脚上のアンカー筋を施工する。
   あわせて、橋台下面ならびに橋脚下面および側面に遮青繊維質目地板を設置する。
4. 50t吊ラフテレーンクレーンを用いて、上部工を所定の位置に架設する。
5. 上部工据付け後、削孔部に無収縮モルタルを充填する。
6. 橋台遊間部の遮青繊維質目地板を設置し、パラペットのコンクリート打設を行う。

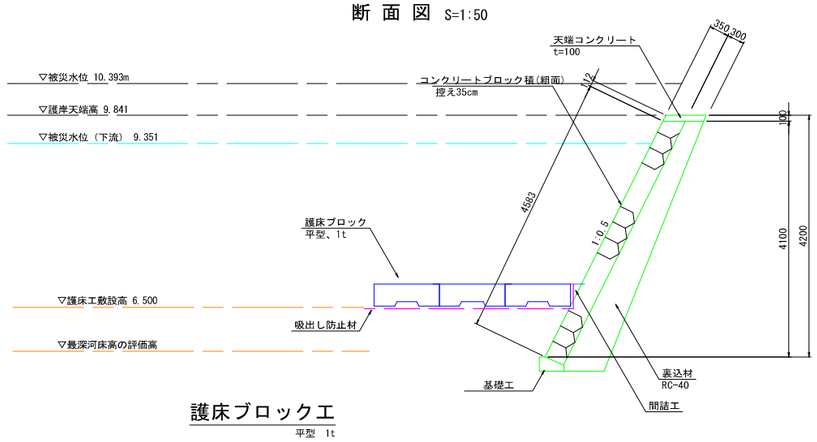
施工上の注意事項

- 既設構造物の寸法、形状および施工条件については、施工前に現地確認を行うこと。
- 図示寸法と現地条件が異なる場合は、現地計測結果を優先し、必要に応じて監督員と協議のうえ施工すること。
- 既設RC床版の撤去、仮置きおよび架設に際しては、ひび割れ、欠損等の損傷を与えないよう適切な措置を講じること。
- 仮置き時は、床版に有害な変形や応力が生じないよう適切な位置で支持すること。
- 削孔施工に先立ち鉄筋探査を実施し、既設鉄筋を損傷しないよう施工すること。
- アンカー筋の位置は現地計測により確認し、上部工の削孔位置を適宜調整すること。
- 上部工架設後は、橋軸方向、橋軸直角方向および遊間寸法を確認すること。
- コンクリート打設前に、既設コンクリートとの接合部の処理を適切に実施すること。
- クレーン作業に当たっては、使用機械の定格総荷重および作業半径を確認し、安全に施工すること。

工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	上部工撤去・復旧参考図(2/2)		
縮尺	図　示	図面番号	11 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		

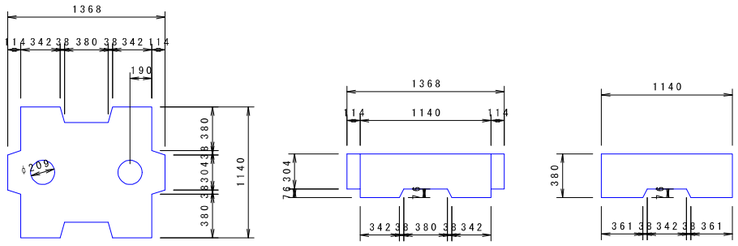
護岸構造図

断 面 図 S=1:50



護床ブロックエ

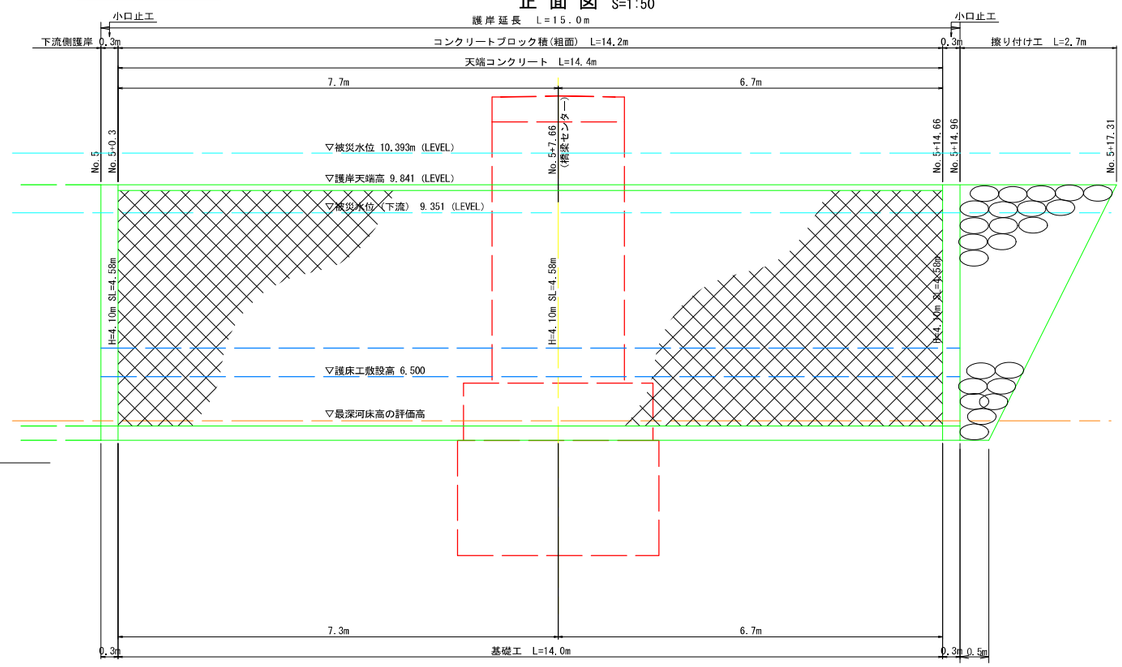
平型 1t



護床ブロックエ 平型1t 1個当り

名称	単位	数量
コンクリート	m^3	0.403
型枠	m^2	3.510

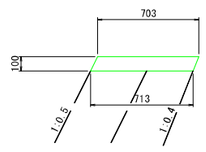
正 面 図 S=1:50



ブロック積護岸工取壊し詳細図 S=1:60

No. 6

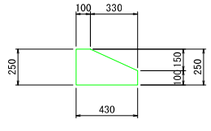
天端コンクリート



天端コンクリート 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m^3	0.7
型枠	小型構造物	m^2	2.2
目地材	t=10mm	m^2	0.1

基礎工

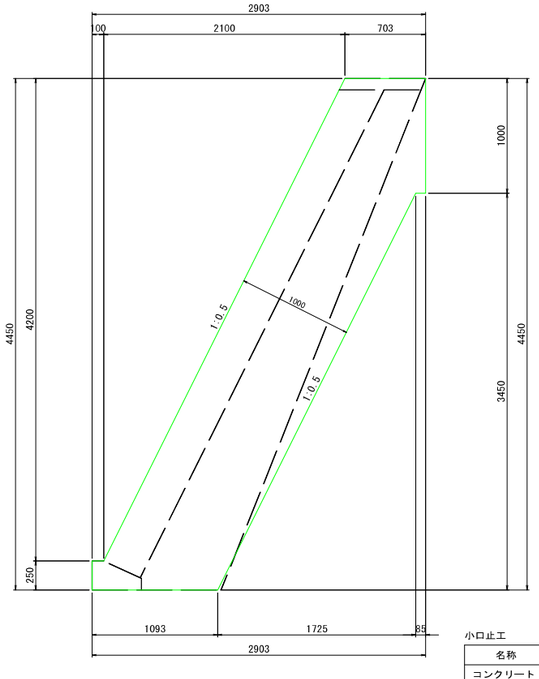


基礎工 10m当り

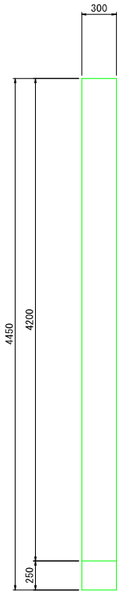
名称	規格	単位	数量
名称	σck=18N/mm²	m^3	0.8
型枠	小型構造物	m^2	3.5
目地材	t=10mm	m^2	0.1

小口止工

側面図



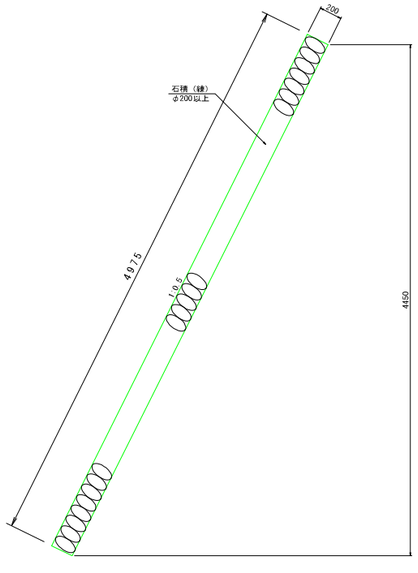
正面図



小口止工 1基当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m^3	1.4
型枠	小型構造物	m^2	11.1

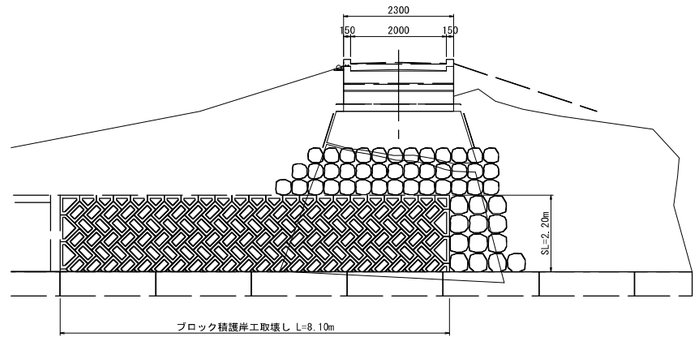
擦り付け工



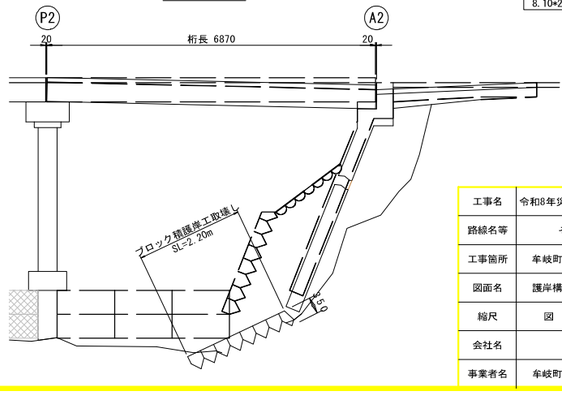
擦り付け工

4.98*(0.5+2.7)/2	m2	7.968

正 面 図



断 面 図



既設ブロック積護岸工取壊し

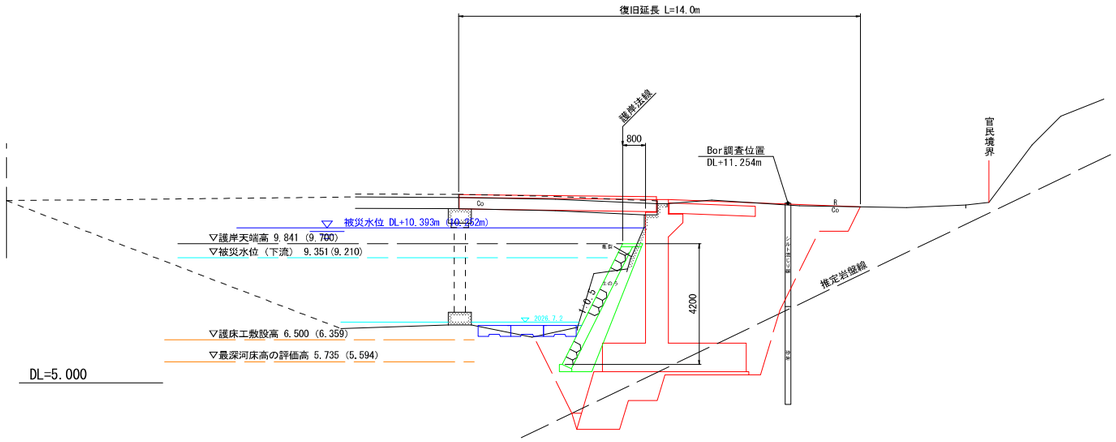
8.10*2.20*0.35	m3	6.200

工事名	令和8年災 国補第41号 いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他 市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	護岸構造図		
縮尺	図 示	図面番号	12 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町 建設課		

復旧護岸計画図

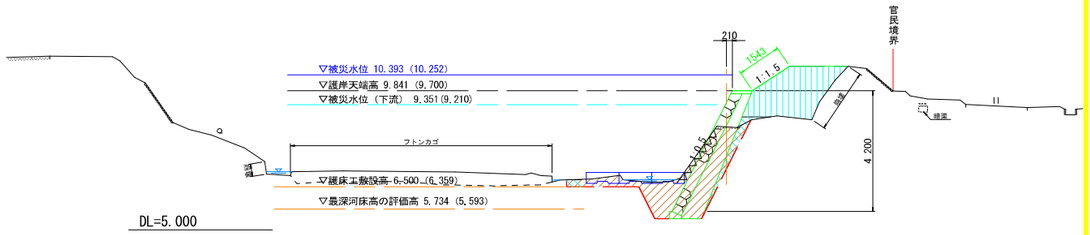
S=1:100

横断図（いとり橋中心）

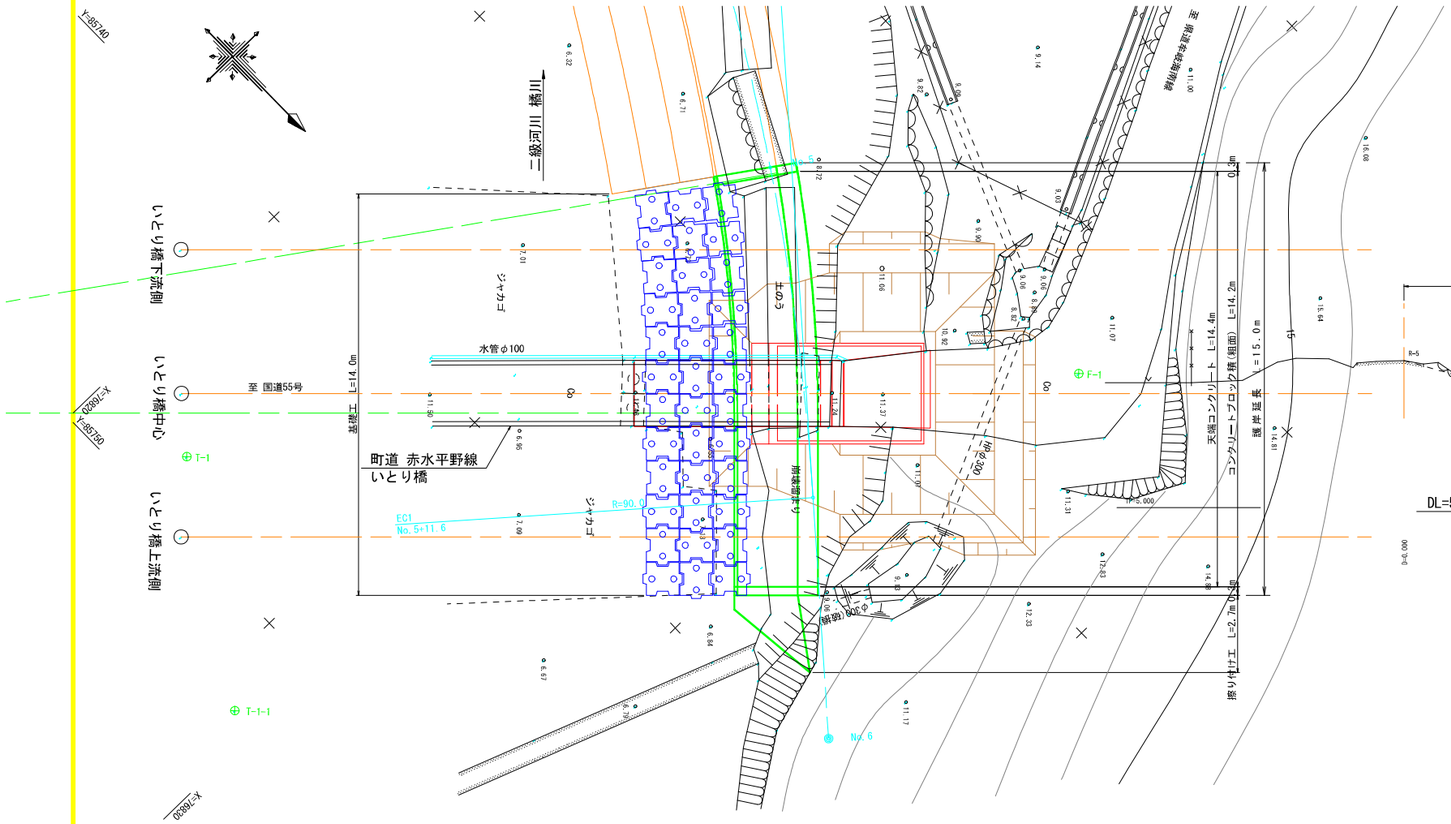


横断図（いとり橋下流側）

工　種	種　別	細別・規格	右　岸	凡　例
河川土工	法面整形工	法面整形（盛土部）	1:5	
作業土工	床掘り	床掘り（土砂）	6.0	
		床掘り（軟岩）	－	
	埋戻し	埋戻し（4.0≦W1）	－	
		埋戻し（1.0≦W1＜4.0）	4.3	
		埋戻し（W1＜1.0）	0.8	

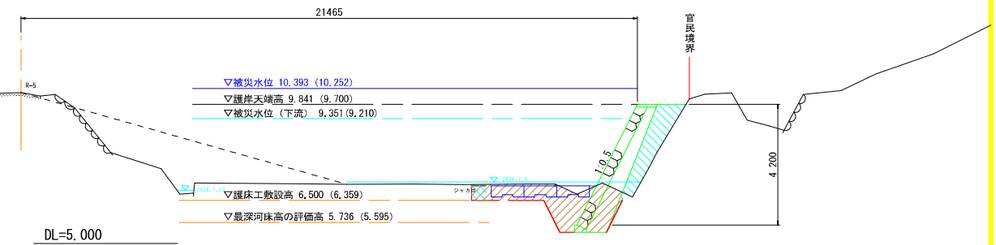


平面図



横断図（いとり橋上流側）

工　種	種　別	細別・規格	右　岸	凡　例
河川土工	法面整形工	法面整形（盛土部）	－	
作業土工	床掘り	床掘り（土砂）	5.1	
		床掘り（軟岩）	－	
	埋戻し	埋戻し（4.0≦W1）	－	
		埋戻し（1.0≦W1＜4.0）	－	
		埋戻し（W1＜1.0）	2.5	

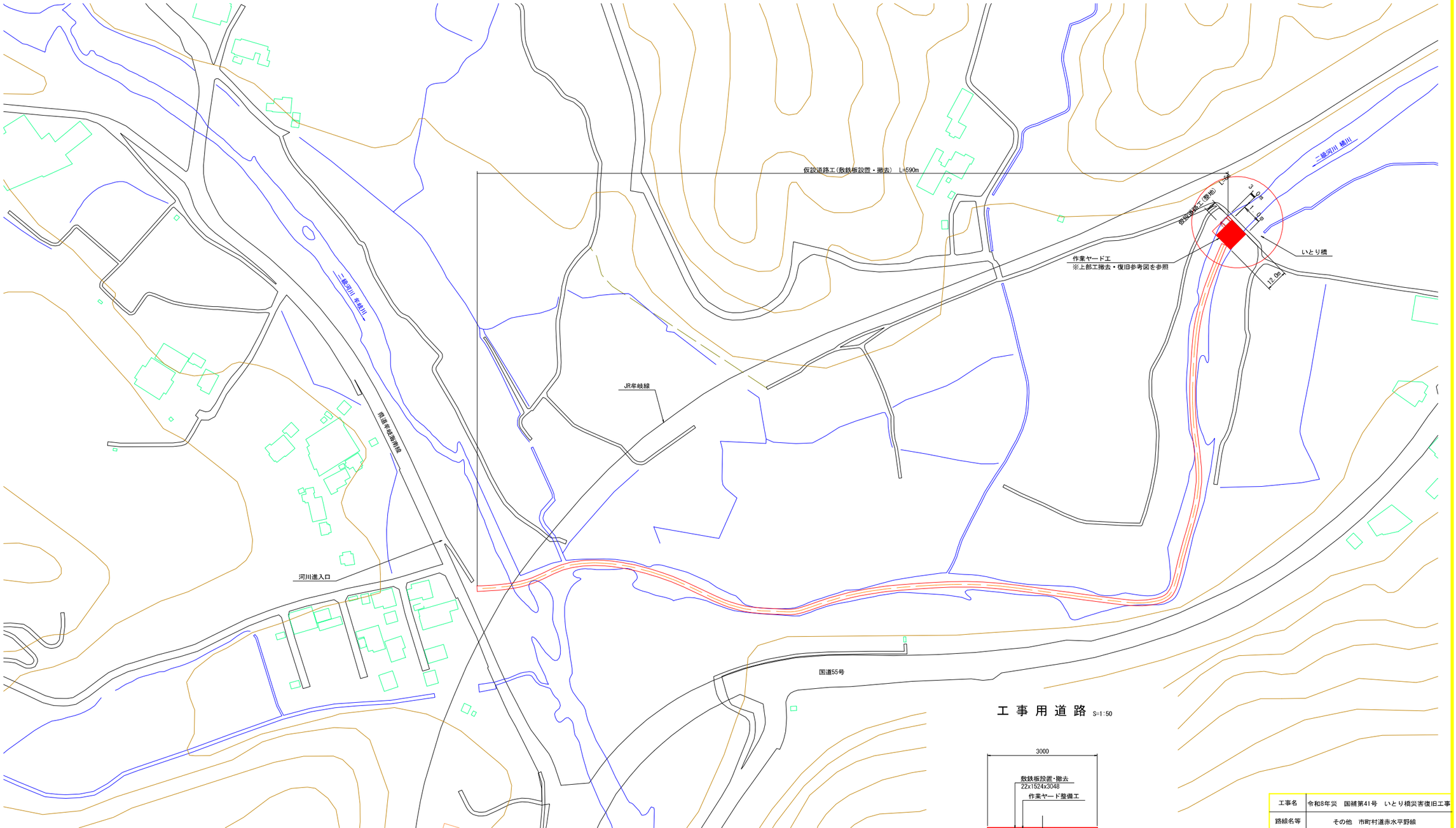


点　名	X座標	Y座標	Z座標	備考
T-1	76823.848	85748.003	11.014	標高基準
F-1	76843.474	85723.762	11.095	標高：直接水準
F-2	76826.675	85690.132	10.393	標高：直接水準
F-3	76818.126	85654.270	10.238	標高：直接水準
F-4	76800.110	85607.696	10.013	標高：直接水準

※ 括弧内の標高値は、測地成果2024による値である

工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事			
路線名等	その他　市町村道赤水平野線			
工事箇所	牟岐町			
図面名	復旧護岸計画図			
縮尺	図　示	図面番号	13 ／ 14	
会社名				
事業者名	牟岐町　建設課			

工 事 用 道 路 参 考 図 S=1:1000



工 事 用 道 路 S=1:50

注記
- 工事用道路は、現地盤を整地のうえ敷鉄板を設置して使用すること。
- 出水時は、施工機械、資機材等を速やかに河川区域外へ退避させること。
- JR橋梁近接部の通行に際しては、橋梁構造物に接触等の損傷を与えないよう十分注意すること。
- JR橋梁桁下空間はH=3.9m程度である。施工前に桁下高さおよび路面高さを実測確認し、必要な離隔を確保したうえで通行すること。
- 現地条件と図示内容が異なる場合は、現地状況を優先し、必要に応じて発注者と協議のうえ施工すること。

工事用道路　1式当り数量

名　称	規　格	単位	数　量
整地	土砂	m^2	18
敷鉄板設置・撤去	22x1524x3048	m^2	1770

施工ヤード整備工　1式当り数量

名　称	規　格	単位	数　量
整地	土砂	m^2	132
敷鉄板設置・撤去	22x1524x3048	m^2	132

工事名	令和8年災　国補第41号　いとり橋災害復旧工事		
路線名等	その他　市町村道赤水平野線		
工事箇所	牟岐町		
図面名	工事用道路参考図		
縮尺	図　示	図面番号	14 / 14
会社名			
事業者名	牟岐町　建設課		